うさぎだよりは「コープともしびボランティア振興財団」の助成を受けて印刷しています。

うさぎだより

2019年2月号
うさぎぶんこ

2月

2月3日は節分。その次の日が立春。冬から春へ季節を分ける節目です。

節分には豆をまきますね。皆さんの家ではどうですか。昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけて鬼を退治したという話が残っているそうです。鬼の「魔の目(魔目)」に豆を投げて「魔を滅する」に通じているそうです。目に豆をぶつけられた鬼はそりゃあ痛くてびっくりして逃げて行ったでしょうね。

季節の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられていてそれを大豆をまいて追い出すのが豆まきです。子どもが小さい頃は毎年「鬼はーそと、福はーうちっ」と言いながら家の中、そして玄関から外に豆まきをしていました。(おどす豆を掃除するのが大変でしたけどね)そして自分の年齢+1つ多く豆を数えながら食べたものです。季節の行事は大切にしていきたいですね。

1月のおはなし会報告

1/9(水) 人丸幼稚園

今年初のおはなし会は人丸幼稚園!以前プアールに住んでいた園長先生。たっぷりとお話をしながら、小さい時から絵本に出会う大切さを語り合いました。寒いけどとても元気な○○子どもたちでした。

1/16(水) 東垂水

方通行 ごっこ遊ではないけれど くねくねと曲がる道をどんどんついていくと着くこども園。いつもたくさんの絵本を読んでもらっているのかよくわかる○○子どもたちでした。

1/23(水) 桜が丘幼稚園

山前 花園幼稚園の園長だったシン○○先生が転勤されて以来でしたが、○○の冬特有の寒い日でしたが、「おやっ、あおむしさんどんどんついていくと着くこども園。いつもたくさんの絵本を読んでもらっているのかよくわかる○○子どもたちでした。

そしてクリスマスは終わったけど「今はサンタさんは準備しているおはなし」「あかずきんちゃんのおくにでてね」「おばけのコンサート」など、楽しいおはなしは大人気。「こどものさんのクイズ?!」には大興奮してくれました。知っている顔もあって嬉しかったです。

1/30(水) 豊崎幼稚園

久しぶりに呼んでいただきました。婚礼幼稚園でいらした時にいつも呼んでくださっていた水谷先生が今年からこの園へ。「久しぶりやなぁ!!」が、みんなは元気いっぱい!!楽しいおはなしには大笑い。

「こどものさんのクイズ?!」には大興奮してくれました。知っている顔もあって嬉しかったです。

節分は季節の変わり目、節目、人生の節目を迎える春はすぐそこに!

岸田典大さんとは…

北海道の千歳に住む絵本パフォーマー。作家の絵本を読みながら自作の曲を流してのライブです。普通の読み聞かせと思ったら大違い!!個性あふれる曲作りと読み方で新しい絵本の楽しみ方を伝えてくれます。真似のできない面白さです。ぜひ生で聞いてみてくださいね。うさぎ文庫とは2005年以来の長いお付き合いです。さて、今回の新作は何やねん~楽しみにしていましょう?

ちょっといい話

Tくんはとてもおしゃべりが上手になりました。きっとお家ではいっぱいお話ししてたのでしょうね。このところ文庫の常連気に入ってくれるわけになって本当に嬉しい限りです。最近の文庫での彼のマイブームは絵本の修理。絵本をめくっていって破れたページをみつけると「岸田さーん、修理しよう!」と嬉しそうに持ってきます。特殊テープで見事修理。破れた大きさに合わせてテープをカットしフィルムをはがして破れた部分に貼って完成。他のページをめくりながら破れた部分がないか確認してます。なければOK!!満足気な笑顔を見せてくれます。

その間も文庫では スタッフが ずっと絵本を読んでいます。修理しながら それでも 時々読み聞かせしている絵本をちらちら見ています。お母さんは文庫に来る目的が違ってきているかもと話してくれます。でも それでいいです。ここに来る目的が 今は それでも 徐々に満足感が得られるものが この文庫にあって 何より親と違う人とコミュニケーションがとれるということが とても大切だと思うのです。自分のやりたいことがはっきり言葉に出せて 相手に伝えられるということは たくさんの情報を得ながら成長しているからです。その成長の手助けに 絵本の出会いもあると思っています。もちろん彼のブームは修理だけではありません。書庫の絵本も大好き。おはなしに出会うきっかけがいっぱいあったらいいなと思います。

もうサンタさんはみ水なが良いるにしているか見ていますよ。

うさぎ文庫の電話番号 924-7234 (菊川自宅 FAX共)

3月の開室日…1日・15日(金)